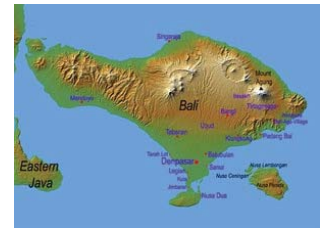


バリ&ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第39号 2013年5月発行



5月となりました。インドネシアも乾季となり、雨が少ないシーズンとなってきました。

バリ島には青い美しい海が広がり、また涼しい高原地域も多く、本当にベストシーズンの始まりです。

今回はインドネシアでも公にお酒を取り扱つかえるバリ島(ヒンドゥー教)でのワインについての情報です。

以前にR&I会員・平川 龍氏が定期的に発行されているバリコミュニケーションにもバリ・ワインの件が、少し取り上げられていたかもしれませんが、今回少し詳しく情報提供をさせていただきます。

筆者も毎年バリを訪問する時は、滞在先のサヌール近くのスーパーでバリ・ワインを購入し、飲む前に少しホテルの部屋の冷蔵庫で冷やし、ホテルのテラスで寛ぎながら仲間や家族で飲んだりしています。

バリ島でのワインは、バリ島で製造・販売しているハッテンワイン(HATTEN WINE)が最も有名です。



バリ・サヌールにあるスーパーマーケット Hardy's
酒や果物、一般食料品、土産物等何でも揃う店
土産としてのバリ・ワインも空港で買うよりも大変お得です

このハッテンワインは、1994年からワイナリーで作られてバリで売られるようになりました。

筆者も一通り飲みましたが、冷えた白とロゼは軽い飲み口で、辛いインドネシア料理にはピッタリでした。また赤もとても美味しいです。ボトルは右の写真の様なボディで、スーパーでの購入値段は、昨年10月時点ですが、赤のハッテンワイン1本でRp 129,000.- (約¥1,075.-、¥1 ≒ Rp 120) でした。

ちなみに日本への帰りに空港でも1本購入しましたが、Rp 192,860.-もしてしまいました。ワイン土産はスーパーで買うのが得策です。

バリはオーストラリアから近く、非常に多くのオーストラリア人が観光に訪れています。これに伴って2007年からハッテンワインは、豪州の葡萄を輸入し、サヌールのワイナリーで醸造、瓶詰めも始めました。銘柄は TWO islands でシラーズ、カベルネ &メルロー、シャルドネ、リースリング等があります。こちらは少し高級なワインとなっています。バリへの訪問の際は、ワインがお好きなら是非バリ・ワインをお試しください。

マリン・スポーツが満喫できる**ギリ・メノ**に一度はお越しください **&Casablanca**。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> **Casablanca** のお問い合わせは、shimaint@r4.dion.ne.jp へ

ハッテンワインはバリ島北部シガラジャに葡萄園を保有し、葡萄の栽培を行い、設備の整ったサヌールのワイナリーで醸造、瓶詰めまで行っています。熱帯での葡萄栽培は、単純に考えると木を休ませる時期が難しいかと思いますが、上手に管理されているようです。



HATTEN WINE



バリ島北部シガラジャの
ハッテンワイン葡萄園風景



TWO islands